

あすから全国高校バスケット初の1勝へ

2年連続2回目の出場の男子



光星男女 闘志燃やす

第70回全国高校バスケットボール選手権(ウインターカップ)は23、29日、東京体育館で開催される。青森県勢は男女とも八学光星が出場。初の1勝を目標に大舞台に臨む。

2年連続2回目の出場の男子は堅守が持ち味。県予選で見えた課題の得点力にも磨きを掛けてきた。

1回戦では県立豊浦(山口)と対戦する。精度の高い3ポイントシューターを擁する攻撃陣にどこまで対応できるかが鍵。佐々木彰彦監督は「相手と大きな差はない。連係ミスをなくし、自分たちの特徴を出すことができれば」と話す。久保多烈主将は「目標は初戦突破。泥くさいプレーで勝ちたい」と話した。

初出場の女子は3年の駒沢杏主将、坪保乃香、小田和佳那を中心に、粘り強さを武器とする。

1回戦の相手は全国大会

初出場で初戦突破を目指す女子



常連校の倉吉北(鳥取)。平均身長161センチと小柄ではあるが、光星同様粘り強いディフェンスが光る。リバウンドやルーズボールを確実に取って流れをつくりたい。小野寺實監督は「相手の力が上だが、粘って勝機を狙う」と強気。駒沢主将は「緊張もあるが、試合を楽しみたい。まずは1試合必ず勝つ」と力を込めた。

(中山瑞希)